



神戸大学体育会水泳部
100周年記念
凌泳会 第8回全国大会





神戸大学体育会水泳部 100周年記念
凌泳会 第8回全国大会 パンフレット

目 次

	頁
1. 凌泳会 100周年記念 第8回全国大会 式次第	2
2. 挨拶	
長谷川 健 凌泳会会長	3
本間 正信 神戸大学水泳部長	4
野田 浩志 凌泳会名誉顧問 (前凌泳会会長)	5
柳田 泰義 前神戸大学水泳部長	6
金 一波 神戸大学水泳部監督	7
3. 祝辞	
藤澤 正人 神戸大学長	8
鈴木 大地 公益財団法人日本水泳連盟会長	9
八塚 明憲 公益財団法人日本水泳連盟日本学生委員長	10
樋口 浩三 公益財団法人日本水泳連盟日本学生委員会関西支部長	11
中西 進 一般社団法人兵庫県水泳連盟会長	12
内藤 忠顕 一橋大学水友会会長	13
山口 宗司 大阪公立大学体育会水泳部 OB 会副会長兼恒泳会支部長	14
4. 神戸大学体育会水泳部・凌泳会 100年のあゆみ	15
5. ホームページ「凌泳会」のリニューアル、 ホームページ「凌泳会マスターズ・河童天国」との統合	18
6. 凌泳会全国大会一覧	20
7. 商神	21



※表紙、目次、式次第、水泳部・凌泳会100年のあゆみのイラスト (六甲台・深江キャンパス、ゴーグル、ポロボール、六甲台プールの部室) 及び表・裏表紙のデザインは、甲野 賢 (昭60年卒) 作です。

神戸大学体育会水泳部 100 周年記念

凌泳会 第 8 回全国大会

式次第

第 1 部 100 周年記念式典

(於) 出光佐三記念六甲台講堂

○開会 (13:00)

- 1 挨拶 長谷川 健 凌泳会会長
本間 正信 神戸大学水泳部長
- 2 祝辞紹介
- 3 神戸大学体育会水泳部・凌泳会 100 年を振り返って
- 4 ホームページ「凌泳会」のリニューアル、
ホームページ「凌泳会マスターズ・河童天国」との統合
- 5 水泳部主将挨拶
- 6 パネルディスカッション

○閉会 (15:00 予定)

<記念撮影 (六甲台正門前)>

第 2 部 懇親会

(於) アカデミア館「さくら」

○開会 (15:30)

- 1 挨拶 酒井正人 凌泳会副会長
- 2 乾杯
- 3 懇談
- 4 商神合唱

○中締め (17:30 予定)





凌泳 100 周年を祝す

凌泳会会長 長谷川 健

皆様と共に凌泳 100 周年を盛大にお祝いしたいと思います。

思えば 2019(令和元)年大阪市立大学(当時)との対校戦第 100 回記念大会を、皆様のご協力の下無事開催できたときは、まさかこのような事態になるとは想像もつきませんでした。まだまだ油断は禁物のようですが、ようやく三年を超える長いトンネルから抜け出すことが出来つつあるようです。

「凌泳七十年史」にもありますように、神戸高等商業学校に水泳部が正式に認められたのは 1921(大正 10)年です。水泳部にはその前史があるようで、水泳(部)OB が凌泳として既に活動されていたとのことですから、凌泳の始まりを 1921 年とし、2021(令和 3)年には 100 周年を迎えています。日本がオリンピックの水泳競技に初めて参加したのがその前年の 1920 年アントワープ大会ですから、水泳部として有数の歴史を誇っても良いと思います。

従って、本来なら 2021(令和 3)年が 100 周年記念全国大会の開催の年でした。その準備に取り掛かった矢先にコロナ禍に見舞われたのはご高承の通りです。しかし準備委員会の皆様を中心に活動頂き、何とかお祝いできる日を迎えることが出来ました。この場を借りて皆様に改めて感謝御礼を申し上げたいと思います。

私が入学入部したのは 1970(昭和 45)年です。大学紛争の余燼冷めやらぬ中、授業開始も数か月遅れ、部室にはヘルメットが置いてあったのを覚えています。そこから、その時々の濃淡はあれ凌泳会とお付き合いさせていただいたこととなります。1971(昭和 46)年が凌泳 50 周年になりますが、その時は特にお祝いをしたという記憶はありません。ただ六甲台のプールは当時のままです。数年前部室が撤去され、また周囲には新しい校舎が建築され、周りの風景は一変してしまいました。

それから 50 年余り、お陰様で古希を過ぎても元気に過ごせるのも水泳という競技に出会ったことだと思っています。完全にリタイアして以降、体重コントロールが目的でプールへ通うことが日課の一部となりました。今も週の半分以上はプールに通い 1,000m や 1,500m をマイペースではありますが泳いでいます。いや、漂っているというべきでしょうか。若い人や若い頃の自分には勝てないよ、と言われつつ。そして泳いだ後のビールは最高です。

一口に 100 年といっても大変な年月です。そこには何とも言えぬ重みを感じてしまいます。歴史の重み、伝統の重みとでも言ったらよいのでしょうか。ただ 100 周年も一つの通過点です。先人の皆様のご功績は素晴らしいもので今後も大切に継承していくべきですが、これからの歴史や伝統はこれからの凌泳人の双肩にかかっています。私の現役時代当時の凌泳会会長(元神戸大学々長)古林喜楽先生の言葉を思い出します。曰く「伝統は君たちが創るもの」

どうか会員の皆様、特に若い世代の皆様や現役の諸君にはこれからの輝かしい伝統を作り上げていていただきたいと強く思うところです。110 周年や 120 周年そして 150 周年と、神戸大学体育会水泳部並びに凌泳会が続くことを願ってやみません。



水泳への情熱と工夫を受け継いで

神戸大学水泳部長 本間 正信

神戸大学水泳部および凌泳会の活動が、2021年に100周年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

私は元々神戸商船大学水泳部の部長を務めておりましたが2003年10月に神戸商船大学と神戸大学が統合、2004年4月神戸商船大学廃止に伴い、同年3月にその役割をいったん終えることになりました。その後、神戸大学水泳部競泳部門の活動の多くが深江キャンパスにあるプールで行われたこともあり、2005年頃から指導に関わり始め、2013年より部長を務めさせていただいております。水泳部部長は初代の小川忠蔵先生に始まり、北村五良先生、古林喜楽先生、山田幸男先生、犬養一男先生、柳田泰義先生が歴代の部長を務められ（「凌泳」復刻第62号より）、私は7代目の部長ということになります。これまで神戸大学水泳部と約18年間（内、部長として10年間）関わりを持てたことを大変嬉しく思います。また100周年を迎えた年、さらに記念大会を開催する年に部長に就いていることは、たいへん幸運で光栄なことと思っております。それと同時に、過去には日本学生選手権で優勝者を輩出したような、OB・OGの皆様が築いて来られた歴史の重み、さらには2004年に統合された神戸商船大学水泳部OB会「みずむし会」の歴史も合わせ、部長を務める責任の重さに身の引き締まる思いです。

私の経験で100年以上の水泳の歴史を語ることはできないのですが、以前は10歳代～20歳程度が競泳競技力のピークであると言われて、特に女性はその年齢が低いと言われておりました。それがトレーニング方法の改良などにより、現在では20歳代後半でもベストタイムを更新できることが可能になっています。つまりはトレーニング方法の開発や工夫で、今まで不可能と考えられていたことを可能にできることを示しています。神戸大学水泳部の活動環境は決して十分ではありませんが、近年では、競泳部門、水球部門ともにインカレ出場を勝ち取っています。これは、どの部員も水泳に対する高い情熱を持ち続け、トレーニング方法を改良・工夫することにより成し得てきたことです。私はこの情熱と工夫が神戸大学水泳部の強みであり、100年を超える歴史と伝統を築き上げてきた要因ではないかと思っています。今後もさらに活動の工夫を重ね、インカレ優勝、日本代表などの夢をあきらめず、神戸大学水泳部がますます発展していくことを期待しています。

最後になりますが、「凌泳会100周年記念全国大会」を開催するにあたり、企画から実施までに多くのOB・OGの方々にご尽力をいただきました。また平素よりOB・OGの皆様から神戸大学水泳部に対して温かいご支援をいただいております。これら全ての皆様に、心より御礼申し上げますとともに、これからも神戸大学水泳部をご支援くださいますようお願い申し上げます。



凌泳会 100周年を祝う

凌泳会名誉顧問（前凌泳会会長） 野田 浩志

凌泳会が発足後100周年目を迎えたこと、誠に同慶の至りです。次なる100年に向けてより充実した水泳活動を念じて止みません。

私が凌泳会にお世話になった頃は1920年台に始まる大正～昭和初期の大先輩の現役時代のご活躍とその聲咳に触れる機会が有り、その後の水泳活動に大いに刺激となったものです。中でも競泳活動と並行してウオーターポロが既に正規の競技種目であったが為に「ボールの扱い」や「巻き足」等の練習科目が競泳の練習後に加わって疲労感を増幅させたこと、やがて「ポロ面」として独立し今日のポロインカレ出場までに充実に至ったことに感慨を覚えます。また関西水泳界の大先輩である藤井先生や当時の古林学長が時々練習中にお見えになり日本の「古式泳法」を披露下さったことも印象に残っています。古式泳法といえば、水泳関係者間でも認知度は低いようですが大相撲の土俵入りのような儀式として「古式泳法」が部活動の余暇活用として取り込まれると面白いと思います。

ところで、その頃は学舎が分散していてタコ足大学と言われていた如く神戸地区は六甲台、姫路地区は姫路分校で別々に練習を余儀なくされていましたが5月の連休時期と夏休みの六甲台プールでの合同練習とその年の水泳シーズンの総括としての「月見の宴」が水泳部員としての一体感を養う意味でもお互いの競争意識を高める意味でも意義のあるものでした。尤も今では設備も整い季節節性のスポーツから年中全開となってより良い環境となっているようですね。

また国際都市としての神戸は早くから貿易を通じた在留外国人との交流の機会に恵まれスポーツの交流試合を通じて水泳のみならず硬式テニス、サッカーなど日本のスポーツ界では神戸大学が先駆けとなっていたことは大阪市大戦がポロを含む日本最古の公立大学対抗の水泳競技であることからもお判りいただけるでしょう。



凌泳会 100 周年記念全国大会、誠におめでとうございます

前神戸大学水泳部部長 柳田 泰義

神戸大学における水泳部として発足したのが 1921 年（大正 10 年）と記録され、このたび凌泳会百周年を迎えるに当たり心よりお祝いを申し上げます。

このたびの 100 周年記念全国大会を開催されるにあたり、お祝いのご挨拶の機会を拝受し、大変光栄に存じます。

私は神戸大学に着任したのが 1973 年（昭和 48 年）4 月でした。まだ大阪での社会人水泳大会で泳いでいた時で、六甲台のプールで泳がせて頂いていました。その時の印象ではプールの水が緑色であり、落ち葉も浮かぶような中で練習に励む真っ黒に日焼けした学生たちでした。

ある日、研究室に石井義章さまと学生二人がやってこられて、犬童一男教授が定年退官されたので水泳部長を務めてくれないか、岸 檜夫先生（神戸大学⇒天理大学体育学部）からご推薦いただいた、とのお申し出を受けました。故岸先生は大変立派な方であり、心から学生想いの方でした。しばし迷いに迷いましたが、せっかく学生たちとも一緒に泳いだ関係もあり、大変重責とは思いましたがお引き受けさせていただいた次第です。

水泳部の活動環境は劣悪で、機会あるごとに大学側に申し入れをしていた時に、六甲台事務長様のご采配で、故障していた浄化ポンプの再設置。落ち葉落下防止のための網を購入していただき、さらには国有財産で困難であったプールサイド周りの木々の枝伐採などが改善されました。ご承知の通り神戸大学にはこの六甲台プール、深江のプール、そして発達科学部（旧教育学部）と 3 つのプールを有しており、大学から三つも要らないのではとの意見が出ました。しかしながらその都度、OB の皆様方による大学側への熱烈なプッシュによって現状維持を保てました。また、当時の凌泳会からは例えばアカデミア館内レストランに大きな時計を寄贈されたり、あるいは多額の寄付金を幾度となく大学に贈られたりした凌泳会一丸となつての大学支援は一目を置く組織となっていました。

大学における運動部の活動は我が国の将来を担う、若き学生たちの教室内では得ることのできない重要な教育の場と考えます。近年は社会の変貌もあって個人の自由を尊重するあまり他者との交流の機会が失われ、社会人となりチーム一丸となつて働く人材確保が難しい状況と聞きます。運動部活動では様々な困難がありますが、これらは教室では学べないことばかりであります。また、この組織内で共に汗した仲間たちと培った水泳部魂は生涯の凌泳家族へと育ちます。凌泳会の皆様方には金銭面のご負担も含めて多大なご支援を頂き、まさしく無償の愛を後輩たちに向けて投げかけていただく姿には本当に頭が下がります。

水泳部での活動で培った経験と汗、涙は人生において大きな糧となります。改めてこの 100 年という凌泳会の栄光の歴史を噛みしめ、皆様と共に祝いしたいと思います。



夢はかなう！

神戸大学水泳部監督 金 一波

神戸大学水泳部百周年を迎えるにあたり、輝かしい歴史を築いてこられた諸先輩をはじめ、すべての神大水泳部 OB、OG の皆様、現役部員の皆様に心から敬意と祝意を表したいと思います。百年という記念すべき節目の年を監督として迎えるのはこの上ない喜びと大変な光栄に思います。前任の酒井先輩が 1987 年に海外赴任され、その後から今日まで監督を 36 年に渡り務めてまいりました。多くの後輩達と過ごした時間は、私の人生そのものでした。選手が集まらずリレーがくめなかったり、水球の試合ができない低迷時代や、強い選手がそろい数々の大会での優勝や全国で活躍した全盛時代、インカレ標準を切った歓喜の瞬間、あと少しで届かなかったくやしい涙、韓国での海外合宿の楽しい想いで、全てが私の大切な宝物です。どんな時でも、全力でがんばる、キラキラした青春のど真中にいる現役と共にいられることが、いつも最上の喜びでした。どんなに遅くても、弱くても、体育会のスイマーとして戦う気持ちを持ちつづけさせることが、監督としての信念でした。

現在競泳はインカレに常時出場し、日本選手権に出場する選手も輩出しております。水球もインカレに出場し、王者日本体育大学と死闘をくりひろげ、おしくも敗れましたが大健闘しております。この先、いつまで監督を続けられるかわかりませんが、いつの日にかインカレシード校になり、オリンピック選手を輩出する夢を持っています。後 50 年、100 年かかっても、いつか夢がかなう後輩達に託したいと思います。笑い話と思われる方々がほとんどと思いますが、私は 2001 年に、はじめて韓国のナショナルコーチになりました。その時、世界選手権の参加標準切れるのはたった 3 人、すべて予選落でした。でも 7 年後北京オリンピックではパクテファンを有して金メダルをとりました。現在、韓国水泳連盟の副会長を務めております。パリオリンピックでは、必ず数枚のメダルをとりに行きます。信じれば願いはかなう、限界をきめればそれで終りと、イチローもビールの CM で言っています。大きな夢を持って前に進みましょう。

100 周年から 200 周年に向けて、がんばれ、神戸大学体育会水泳部！栄光は常に我らに。

根性は科学を駆逐する！闘魂あるのみ。



水泳部創部 100 周年をお祝いして

神戸大学長 藤澤 正人

水泳部が大正 10 年に正式に運動部として承認されて以来、令和 3 年に 100 周年を迎えられましたことに、神戸大学を代表して心よりお祝いを申し上げます。

神戸大学は、明治 35 年に神戸商業高等学校として開学以来、神戸商業大学、神戸経済大学を経て、昭和 24 年に現在の神戸大学になりました。水泳部も神戸商業高等学校時代に創部され、2 度の世界大戦、世界恐慌、大学紛争、阪神淡路大震災など様々な試練を乗り越え、神戸大学と歴史をともにして活動を続けてこられたことに、まずは深く敬意を表します。

また、水泳部と凌泳会の 100 年の活動を見せていただきますと、浜川広海氏が、昭和 25・26 年、日本学生選手権（インカレ）50m 自由形で連覇を、昭和 32 年には小山賢之助氏が日本水泳連盟の会長代行を務めるなど輝かしい実績を有しておられます。

さらには、令和 4 年 11 月 6 日、日本マスターズ水泳競技大会において、320 歳区分の 400m メドレーリレーで世界新記録を樹立されたことも伺いました。

神戸大学水泳部並びにその OB 会である「凌泳会」の名の下に、脈々とその活動を継承し、また大きく花開かせておられることを誠に喜ばしく感じるとともに、神戸大学としましても大いに誇りに思います。

100 周年という大きな節目を迎えるにあたり、来る令和 5 年 9 月 17 日に六甲台で開催されます「凌泳会 100 周年記念全国大会」が盛会となりますこと、さらには、諸先輩方の数々の活動・成果を糧として、これからも水泳部並びに凌泳会の活動がますます充実・発展していきますことを心から祈念申し上げて、私からのお祝いの言葉に代えさせていただきます。

凌泳会に弥栄あれ。



神戸大学体育会水泳部 創部 100 周年のお祝いの言葉

公益財団法人日本水泳連盟会長 鈴木 大地

このたび、神戸大学体育会水泳部が創部 100 周年を迎えられましたことを、心よりお祝いを申し上げます。

貴水泳部は、大正 10 年（1921 年）の創部以来、100 余年に亘り、先達が弛まぬ努力を積み重ね、水泳界の発展に大きな功績を残してこられました。本連盟の黎明期を会長代行としてけん引された小山賢之助氏をはじめ、日本学生選手権の 50m 自由形で連覇をされた浜川広海氏の活躍など、広く多くの人たちの知るところです。

本連盟も来年 2024 年に創立 100 周年を迎えます。これまでの百年と同様に、次の百年も「水泳ニッポン」と言われ続けるためには、学生水泳界の発展と充実が欠かせません。これからも競技力向上のみならず、関西学生水泳界のリーダーとして躍進されますことを期待しています。

結びに、創部 100 周年という佳節を機に、関係者の皆様が一層結束を固められ、神戸大学体育会水泳部が益々飛躍されますことを祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

本当におめでとうございます。



祝辞

公益財団法人日本水泳連盟学生委員長 八塚 明憲

神戸大学体育会水泳部(凌泳会)がこの度創部 100 周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。輝かしい伝統を持つ体育会水泳部が今日あるのは先輩諸氏のご努力と汗の賜物によるものですが、その間には幾多の困難もあったものと思います。歴代の部長・監督の熱意、そして OBOG またその時々々の部員が力を合わせた結果、それらの苦難を乗り越えてきたものと推察します。

大正 10 年 1921 年は日本学生選手権水泳競技大会が開催された年です。横浜鶴見区にあった三笠園池(房野池)で第 1 回全国専門学校対抗水泳競技大会(萬朝報社主催)9 月 10, 11 日(2 日間開催)開催されました。参加校は 11 校でした。また全国国公立大学水泳競技選手権大会は今年 69 回目の歴史ある大会で石川県・金沢プールにて開催されました。毎年、神戸大学はシード校に入り活躍しています。また水泳連盟の諮問機関である科学委員会や関西学生員会でリーダー役として活躍するだけでなくご協力に対しても感謝しております。

創部 100 年、長い歴史は今後通過点になります。神戸大学体育会水泳部が我が国水泳界のリーダー役として今後も精進されんことを念願してやみません。これまで水泳部を支えてこられました大学関係各位の皆様方ならびに水泳部諸先輩方またご父兄の皆様のご助力に対し深い感謝と敬意を表し私の挨拶といたします。



神戸大学体育会水泳部・凌泳会 100 周年によせて

公益財団法人日本水泳連盟

学生委員会関西支部支部長 樋口 浩三

この度は神戸大学体育会水泳部・凌泳会 100 周年記念大会の開催、誠におめでとうございます。大学関係者並びに神戸大学水泳部関係者の皆様に深く敬意を表するものであります。

公益財団法人日本水泳連盟は 2024 年に創設 100 周年を迎えます。それと同時に日本学生選手権が始まり、2024 年度が日本学生選手権大会の 100 周年記念大会となります。神戸大学水泳部はそれ以前に創部され活動されていたということになります。その日本学生選手権において 1950 年、1951 年には 50 m 自由形で浜川広海氏が神戸大学水泳部（当時の大学名は神戸経済大学）として個人優勝をされています。その名前は今もインカレの優勝者として年度のプログラムに掲載され続けています。

神戸大学水泳部のご活躍は競泳のみならず水球競技においても 2022 年度の日本学生選手権大会に関西支部の国立大学代表として出場しています。競泳においても全国国公立大学選手権大会において個人、リレー種目ともに決勝進出をするなど関西の国立校の代表として活躍してくれています。2023 年度は個人種目での優勝者が出てくるのではないかと期待しています。

近年、大学スポーツの在り方がクローズアップされていますが、神戸大学水泳部の部員一人一人がまさに文武両道を実現され、卒業後も多くの皆さんが社会で活躍されている姿はまさに大学スポーツの模範であると信じています。

ここに記念すべき創部 100 周年大会開催を迎え、次の 200 周年に向かって新たな素晴らしい歴史が刻まれていく事を期待いたします。

神戸大学体育会水泳部・凌泳会すべての皆様のさらなるご活躍を祈念してお祝いの言葉といたします。



祝辞

一般社団法人兵庫県水泳連盟会長 中西 進

この度、神戸大学体育会水泳部凌泳会が、創立100周年という節目の年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

凌泳会は、大正10（1921）年の創設以来、一世紀という長きにわたり、水泳競技を愛し、情熱をもった多くの先人たちが緩まぬ努力を積み重ね兵庫県水泳界のみならず日本水泳連盟並びに日本水泳界発展のために大きな役割を果たしてこられました。第二次世界大戦、大学紛争、阪神淡路大震災等様々な試練の中、活動を継続された多くの関係者の皆様に心から敬意を表します。

凌泳会の歴史のなかで、昭和25（1950）年、昭和26（1951）年日本学生選手権において浜川広海選手が男子50m自由形で二連覇を成し遂げられたこと。昭和32（1957）年には、小山賢之助氏が日本水泳連盟会長代行専務理事就任され日本水泳会を牽引されたこと。また、昭和63（1988）年には同氏が第2回世界マスターズ水泳選手権大会で世界新記録樹立される等々、素晴らしい成績と功績が残されております。

今後も引き続き凌泳会の皆様方におかれましては、水泳界のさらなる発展と飛躍をめざしてスポーツの普及や様々な取り組みに尽力され、より一層のご活躍を念願してやみません。

結びに、創立100周年という佳節を契機として、関係者の皆様が一層の結束を固められ、神戸大学体育会水泳部凌泳会が益々飛躍発展されますことを祈念申し上げ、お祝いのメッセージといたします。



祝辞

一橋大学水友会会長 内藤 忠顕

このたび神戸大学凌泳会が、創立100周年の節目を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

振り返りますと神戸大学水泳部と一橋大学水泳部との関係はやはり長年にわたる三商大戦での交流になります。第一回大会が1929年（昭和4年）に大阪築港プールにて開始されて以降、第二次世界大戦による中断がありましたが、コロナ禍で中止となる前の年2019年（令和元年）第87回大会まで脈々と大会運営が継続されてきたことは誠に喜ばしいことでありOBOGにとっての誇りでもあります。

私の時代では、4年間続けて競泳第一位神戸大学、水球第一位一橋大学、総合優勝神戸大学の成績で最後まで総合優勝に手が届かず悔しい思いをいたしました。東京に立地する一橋大学にとっては、三商大参加2校が関西にあるため、3年毎に2度関西へ遠征することになります。そのせいか、私達にとって三商大戦の印象は、関西への遠征旅行のイメージが強いです。その上、夏休み前の関東水球リーグと競泳インカレ予選が終わり一息ついた時期に三商大戦が開かれることもあり、この遠征は余り緊張することもなく楽しい旅でした。特に神戸大学での開催は、おしゃれな街神戸への旅となり心も踊る気分だったのを覚えています。

我々一橋大学水友会では、年2回シーズンの前後に、OBOGと現役学生を交えて例会を開催しておりますが、三商大戦での出来事は年代を超えた共通の話題となっています。六甲道駅への移動の電車内で強いアクセントの関西弁の会話に緊張したり、大会後の懇親会での神大生の洗練されたボケと突っ込みの会話に感心したり、また蚊に悩まされた宿泊場所での出来事など、三商大戦への参加は強く印象に残る異文化体験の場でもあるようです。こうして想えば、三商大戦でご一緒した日々は学生生活に彩りを加える格別な日々でありました。私事ではありますが、偶々、私の会社生活の最初の赴任先が神戸でしたが、学生時代の思い出の残る大好きな街であり、お陰様で初めから気持ちよく働くことが出来ました。

このように我々の先輩、後輩たちが神戸大学とともに100年近い歴史を紡いできたわけですが、昨今の大学の統合や学部の再編等により旧商科大学をルーツに持つ三大学にも大きな変化が生まれてきております。一部には“三商大”という名称に違和感を持つ人が出てきているとも聞きます。この変化の中でも3大学の水泳部が、歴史を受け継いで水泳を通じた交流を続けていってくれることを願って止みません。

今後の神戸大学水泳部並びに凌泳会の益々の御発展をお祈り申し上げ、結びの言葉とさせていただきます。



凌泳会 100 周年を祝って

大阪公立大学体育会水泳部 OB 会
副会長兼恒泳会支部長 山口宗司

神戸大学水泳部/凌泳会創立100周年おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。1921年に凌泳会を発足され、以来1世紀にわたり、現役・OB/OG 一体となって連綿と歴史を紡いでこられた凌泳会及び関係者の皆様に深甚なる敬意を表します。

この間、水泳部創部・凌泳会創立当初からの水泳を愛する先達の想いが脈々と引き継がれ、「♪凌泳健児の意気高しいざ競わん腕を撫し♪」（神戸大学水泳部歌より）の如く、数々の輝かしい記録や戦績を残され、現在も競泳、水球ともに関西国公立大学ではもちろんのこと、全国国公立大学でも有数の水泳部としてご活躍されています。

神戸大学水泳部/凌泳会と我が校水泳部との絆・歴史の始まりは、現在も続く日本最古の対抗戦です。1920年（大正9年）に開催された「第1回神戸高商・大阪高商対抗競泳会」（現在の神戸大学対大阪市立大学（大阪公立大学）水上競技大会）以来、毎年水しぶきを挙げて奮闘、勝敗を競って参りました。「凌泳70年史」、また、弊会々誌「恒泳90周年記念誌」にも大会初期からの歴史が先輩各氏からの寄稿等で掲載されており、その伝統の対抗戦にかける熱い想いが伝わってきます。またその後始まった旧三商大戦も現在も継続し、長い歴史を紡いでいます。

私は1971年に大阪市立大学に入学し在籍4年間のうち、神戸大学戦では2回生の時に、あの木々に囲まれた印象深い緑の六甲台プールで泳ぎました。当時、先輩からは並べ、並んだら抜けと叱咤激励され、ターンで滑り失敗しながらも必死で泳いだことを思い出します。公式試合にはない独特の雰囲気、それは先輩各氏から脈々と引き継がれた歴史がプールに宿っているかのようでした。第55回大会の4回生主将のときには部員に恵まれ、競泳・水球ともに優勝。その後の懇親会コンパでも盛り上がったことを懐かしく思い出します。

卒業して四十数年が経過し、2019年の「第100回神戸大学対大阪市立大学水上競技大会」（於：市大プール）開催の企画に携われたことも貴重な思い出です。例年の競技に加え、勝敗とは別にOB/OGや家族参加競技もあり、総勢160名の盛大な大会となり、また、大会後の懇親会でも遠方から参加の皆さんとの久しぶりの再会もあり、大いに盛り上がりました。翌年からはコロナ禍で2年間は中止を余儀なくされましたが、昨年2022年に3年ぶりに無観客ながら復活再開、来年の大会ではOB/OGが応援出来ることを祈念しています。

おりしも本年、大阪市立大学水泳部も創部100周年を迎えます。昨年大阪府立大学水泳部と統合、大阪公立大学水泳部としてスタートしましたが、これからも両校の伝統の対抗戦や旧三商大戦を後輩達が継続開催され、また公式試合でもより一層高いレベルを目指し、水泳部の輝く歴史を一步一步作っていかれることを願って止みません。

終わりに、神戸大学水泳部/凌泳会の次の100年に向けての益々のご発展と、皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

神戸大学体育会水泳部・凌泳会 100年のあゆみ

明治 35(1902)年	「神戸高等商業学校」開学
大正 6(1917)年	白山源三郎(大10) 極東大会(現アジア大会)100ヤード 3位入賞
大正 9(1920)年	日本初の水泳対校戦として「第1回神戸高商対大阪高商(現:大阪公立大学)水泳競技大会」開催
大正 10(1921)年	水泳部が運動部として公認。「凌泳会」活動開始
大正 13(1924)年	上筒井にプール完成(25m、4コース)
大正 14(1925)年	第1回神戸高商対東京商大水上定期戦
昭和 4(1929)年	「神戸商業大学」に昇格、 第1回「全日本商大連盟水上競技大会(現三商大対抗戦)」(神戸商大、東京商大:現一橋大学、大阪商大:現大阪公立大学)開催
昭和 5(1930)年	小山賢之助(昭7) 極東大会 400平 3位入賞
昭和 7(1932)年	六甲台プール完成
昭和 9(1934)年	六甲台に学舎移転
昭和 10(1935)年	六甲台プール開き、対大阪商大戦に水球加わる
昭和 14(1939)年	対大阪商大戦 20回記念大会
昭和 19(1944)年	「神戸経済大学」に改称
昭和 20(1945)年	第2次世界大戦敗戦により六甲台プールが米軍に接収される
昭和 24(1949)年	国立大学設置法により「神戸大学」に再編
昭和 25(1950)年	浜川広海(昭27) 日本学生選手権(インカ) 男子50自優勝 浜川広海(昭27) 日本競泳記録50自第1位に
昭和 26(1951)年	日本学生選手権(インカ) 浜川広海(昭27) 男子50自優勝
昭和 27(1952)年	神戸商船大学設置
昭和 28(1953)年	「凌泳」誌復刊、創立50周年記念式典
昭和 29(1954)年	田淵五郎(昭30) 第1回全国国公立戦50背、100背優勝
昭和 31(1955)年	関西国公立戦優勝
昭和 32(1957)年	小山賢之助(昭7) 日本水泳連盟の会長代行専務理事に就任
昭和 33(1958)年	岡村 司(昭34) 全国国公立戦100背優勝 六甲台プール神戸大学に返還
昭和 34(1959)年	大阪市大戦40回記念大会、関西国公立戦優勝、 高岡保宏(昭37) 全国国公立戦800自優勝
昭和 37(1962)年	プールサイドに「風呂」完成
昭和 40(1965)年	鈴木俊彦(昭44) 全国国公立戦100平優勝
昭和 43(1968)年	浄化装置完成
昭和 44(1969)年	大阪市大戦50回記念大会
昭和 45(1970)年	水泳部に初の女性部員誕生
昭和 48(1973)年	佐敷定雄(昭49) 全国国公立戦100蝶優勝

昭和 54(1979)年	第 1 回全国大会（神戸高商創立 75 周年記念祭）、 大阪市大戦 60 回記念大会
昭和 55(1980)年	兵庫インカレ 51 年目に初優勝
昭和 56(1981)年	第 2 回全国大会（創部 60 年、ポートピア'81 開催年）
昭和 57(1982)年	第 50 回「三商大戦記念大会」開催、 関西国公立戦 男子優勝、 凌泳会会則を改正し、準会員を設置
昭和 58(1983)年	関西国公立戦 男子優勝
昭和 59(1984)年	関西国公立戦 男子優勝、全国国公立戦 男子 2 位
昭和 60(1985)年	日本マスターズ水泳に凌泳会として加盟
昭和 63(1988)年	小山賢之助（昭 7）第 2 回世界マスターズ水泳選手権大会で 80+ の 50 平で世界新記録樹立
昭和 63(1988)年	神戸大学ポロ インカレ初出場
平成元(1989)年	大阪市大戦 70 回記念大会
平成 2(1990)年	水泳部が競泳面と水球面に分かれる
平成 4(1992)年	第 3 回全国大会（創部 70 年、「凌泳 70 年史」刊行祝賀会）
平成 7(1995)年	阪神淡路大震災発生 幹部の交代時期を 7 月から 4 月に
平成 9(1997)年	第 4 回全国大会（創部 75 年、全国国公立・三商大応援）
平成 13(2001)年	第 5 回全国大会（創部 80 年）
平成 15(2003)年	神戸商船大学を統合、神戸大学海事科学部を設置、 商船大水泳部と統合
平成 17(2005)年	第 6 回全国大会（創部 85 年、商船大統合記念）
平成 18(2006)年	ポロインカレ出場、初勝利を挙げる
平成 23(2011)年	第 7 回全国大会（創部 90 年）
平成 27(2014)年	田淵五郎（昭 30）、安茂弘（昭 39）、浦野敏明（昭 60）、武政英幸 （昭 39）日本マスターズ短水路大会で（280+）400MR で日本新 記録樹立
平成 28(2015)年	武政英幸（昭 39）、安茂弘（昭 39）、浦野敏明（昭 60）、井上隆史 （昭 37）が（280+）400MR で日本新記録樹立 水泳部公式 facebook 活動開始
平成 29(2016)年	凌泳会会費目標（年間 130 万円）達成 水泳部公式 Twitter 活動開始
平成 30(2017)年	神戸大学 男子 400MR でインカレ出場
令和元(2019)年	「第 100 回神戸大学対大阪市立大学（現大阪公立大学）水泳競技 大会」開催
令和 2(2020)年	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関西インカレ、関西国 公立戦、全国国公立戦、三商大戦、市大戦等が中止、 ポロインカレ出場

令和 3(2021)年 新型コロナウイルスのため、総会初の web 開催、三商大戦、市大戦が中止

令和 4(2022)年 凌泳会 LINE 公式オープンチャット開設
マスターズ水泳において、玉川智嗣(平 28)が(72~119 歳)400MR で、武政英幸(昭 39)、安茂弘(昭 39)、佐敷定雄(昭 49)、井上隆史(昭 37)が(320~359 歳)400MR で世界新記録樹立。
松島優太(3 回生)100 蝶・200 蝶、男子 400MR、ポロ インカレ 出場

令和 5(2023)年 新型コロナウイルスのため、三商大戦中止。
松島優太(4 回生)全国国公立戦 100 蝶優勝
台風 7 号接近のため、三商大戦中止
第 8 回全国大会(凌泳会 100 周年記念)開催(予定)



新しいコンテンツ続々と

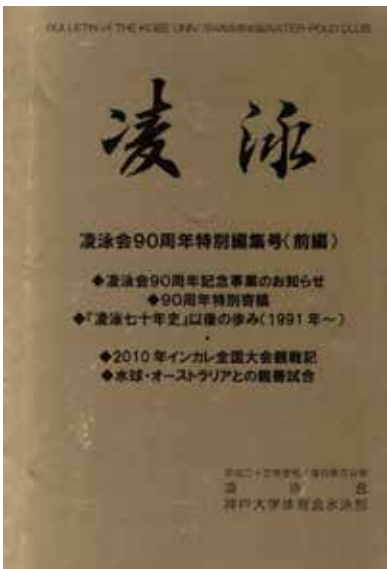
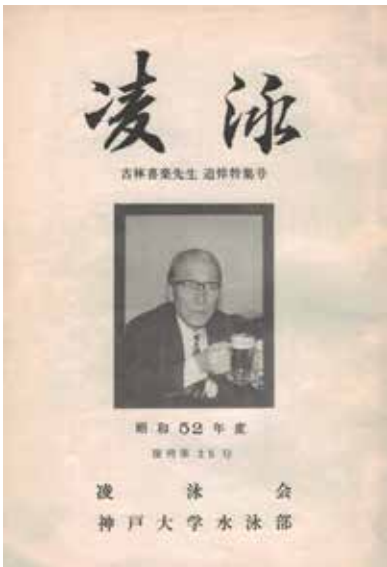
ホームページのリニューアルにあたり、凌泳会のもつ様々な情報を統合し、発信することに重点をおくことになりました。温故知新の精神で、積み重ねてきた伝統と、新しい世代の力が融合する新しいコミュニケーションの場を目指します。

マスターズ「河童天国」も合流へ

卒部後も社会人として働きつつ、マスターズへ活動の場を移して泳いでいる諸氏が、輝かしい成績を残されていることは既報の通りですが、この活動報告の場として長年下支えをしてきたWebサイト「河童天国」の掲示板が運営元のサービス停止に伴って閉鎖されることとなりました。そこで、今回のリニューアルにあたってはマスターズスイマー諸氏の活躍を記録し、さらに多くの関係者に情報発信を進めていくため、凌泳会ホームページの新しいコンテンツとして「河童天国」をお迎えすることとなりました。

また、現役生の様子や活動報告は従来メーリングリストを通じて適宜報告がなされていますが、今回のリニューアルを機にメーリングリストに加えて、河童の輪での記事として投稿してもらおうことで、今メーリングリストの参加者でない方にも、また過去の報告を見返すためのアーカイブとしても機能することを期待しています。他にも、OBOGの方々による近況報告や現役生の観戦報告など、まさに河童の輪を広げていくよう、ぜひお力添えをお願いいたします。

◀アーカイブ化が進む凌泳誌。題字は今も昔も変わらず藤井正太郎先生。
① 昭和52年度復刊25号 ② 平成23年度復刊59号 90周年特別号



モバイル対応さらに便利に

よいコミュニケーションの場となるためには、人々が集うことが重要で、そのための必須条件がスマホやタブレットなどのモバイル対応でした。PCから閲覧いただくことはもとより、いつでも手元から記事を閲覧したり、記事を投稿したりできるようになっていきます。ぜひブックマークやお気に入り登録をしておいたとき、時折お立ち寄りいただけましたら幸いです。

コミュニティを育む

投稿テーマを募集

コミュニティが成熟するためには、人々が参加できることが重要であると物の本で読みました。だとすると、凌泳会のホームページをリニューアルするにあたって重要なことは、どのようにみなさまをお迎えするかではないでしょうか。たとえば、これまで凌泳誌の中でも現役生の企画や、リレーエッセイという形で様々なコミュニケーションのための仕掛けづくりがなされてきました。

先輩方の多彩な視点と豊かな語り口は、凌泳会のホームページを華々しいものにしていただけると確信しています。いきなり投稿は：という方に、リレーエッセイや投稿テーマがあれば、筆が進むかもしれません。我こそは、という河童記者の先輩方にもぜひ筆を取っていただきたく存じます。丁寧に方法等をご案内しますので、凌泳会へぜひご連絡ください。アイデアも随時募集しております。



QRコードから簡単にアクセス可能



HP 十年ぶり刷新

凌泳会ホームページを新しい形へ

神戸大学体育会水泳部の100周年を記念して開催される凌泳会第8回全国大会に合わせて、凌泳会のホームページもリニューアルされることになりました。リニューアルされたホームページの愛称は「河童の輪」であることが発表されました。凌泳会では会員をみな河童にたとえ、いつ何時も水を忘れることのない私達をよく表したキャラクターとして親しんできました。特に、マスターズ水泳に取り組む先輩方の戦績を公開しているホームページは「河童天国」と呼ばれ、こちらも広く親しまれてきました。「河童の輪」は河童が必ず持つている皿（輪）と、コロナ禍で変容した人と人との和（輪）をつなぐ新しい場になるようにとつけられた名前です。

また、今回のリニューアルにより、従来ホームページ管理者にしか情報発信が出来なかった構成から、希望する河童たちなら誰でも、簡易に新しい話（輪）を投稿できる、共有の日記帳のような作りになっている点が見どころです。凌泳会のホームページは水泳部の90周年を記念して開催された凌泳会第7回全国大会に合わせて、2011年に現役有志によって開設され、運用を開始しました。メンバーリストへの登録サービス、お知らせの掲示、70周年記念誌のオンライン提供など、当時としては最新の技術を組み合わせた新たなコミュニケーションツールとなることが期待されていました。

しかし、継続的な運用は厳しく、ホームページは存在するものの、稼働していない状態が続き、現役とOBの活発なコミュニケーションや親睦を深める場所として建てられた当初の目的は志半ば、となりました。今回のリニューアルでは、このコミュニケーションに重点が置かれました。すなわち、限られたメンバーが更新を担当する一方向的なページではなく、双方向のコミュニケーションが可能なることを優先しました。凌泳会の河童なら誰でも簡単にコミュニケーションを開始することができ、様々な年代の河童が投稿する話を読み物として楽しむ河童もまた、集うことができます。ものと期待しています。

また、コミュニケーションだけでなくどまらぬ工夫もありました。現役が中心となって発行している部誌「凌泳」は、令和5年度の発行で復刊71号を数えます。この凌泳誌をオンライン上から読めるように、特に過去の資料を保全するプロジェクトも進められました。今後、続々と過去の凌泳誌がオンライン環境で読めるようになるという事です。この凌泳誌オンライン化にあたっては、酒井正人氏（昭和53卒）が保管されていたものを、今回のプロジェクトのためにご提供いただきました。御礼を申し上げます（HPの凌泳資料館より）ので、お持ちの方はぜひお声がけください。

凌泳新聞

発行：凌泳新聞社

2023年 令和5年

9月17日

きょうは何の日

水泳部100周年記念
凌泳会第8回全国大会の日



愛称は「河童の輪」



▲ 公開された新しいホームページ
= <https://ryoei.main.jp/>

凌泳全国大会一覧

回	年月日	開催理由	会場	参加者	参加費	内 容
第1回	昭和53 (1978)年 5月13日 (土)	凌霜75周年 全国大会に併 せて	凌霜祝賀会に 併せて六甲台 前庭にテント 設営	40名	会費：5,000円	1時より教官食堂で凌泳会総会 4時頃終了。 前庭の園遊会（3時開始）に合流。テ ント設営費用、3万円+学生分3万円
第2回	昭和56 (1981)年 5月24日 (日)	創部60年 ポートピア’ 81開催年	三宮・金龍閣 (新聞会館)	74名	会費：7,000円 記念品： 10,000円 (ふんどし)	1時より教官食堂で凌泳会総会、 5時より金龍閣にて懇親会。 前夜祭 兼松六甲荘17名。 翌日、ゴルフ（花屋敷よかわ）11名
第3回	平成4 (1992)年 5月16日 (土)	創部70年 「凌泳七十周 年史」刊行祝 賀会	三宮・港蘭館 (交通セン タービル)	会員 59名	会費：10,000円 同伴・学生： 2,000円	1時より教官食堂で凌泳会総会。 3時より港蘭館にて懇親会、年史刊行 祝賀会。水泳部へビデオセット寄贈 160,000円
第4回	平成9 (1997)年 8月9日 (土)	創部75年 全国公応援(9 日) 三商大応援 (10日) 共に神戸が当 番校	神戸ローザン ヌホテル(六 甲アイランド*)	会員 103名 うち宿泊 44名	会費：10,000円 宿泊：10,000円	全国公立戦 男女共、関西国公立2位 で出場権獲得。 9日正午 ポートアイランドプール集 合 応援。4時 ホテルへ移動 6 時30分より懇親会。 10日 三商大戦 応援
第5回	平成13 (2001)年 9月15日 (祝)	創部80年 月見の宴	六甲台前庭 (予定)、当 日雨天のため 大教室(102 号)にて実施	会員 55名	会費：12,000円 同伴：7,000円 (学生無料)	キャッチフレーズ「感謝と未来」。午 前 競泳記録会 午後 ポロOB・現役対 抗戦。終了後 懇親会（ダイニク よりの出張パーティー形式）。 翌日ゴルフ（ダンロップGC）。記念品 として置時計を六甲台アカデミア館食 堂「さくら」へ寄贈
第6回	平成17 (2005)年 9月17日 (土)	創部85年前 年 商船大統合記 念	第一会場：六 甲台 第二会場：深 江（海事 科学部）	会員 68名 (うち商 船大OB 14名)	会費：7,000円 同伴：3,000円 (学生無料) 記念Tシャツ： 2,000円	正午より六甲台プールにてポロOB・現 役対抗戦。3時バスにて深江会場へ移 動 到着後海事科学部キャンパスツ アー（練習船深江丸・資料館・プール などを見学）。5時より懇親会（パー ベキュー）翌日ゴルフ（淡路CC）
第7回	平成23 (2011)年 9月24日 (土)	創部90周年	第1部：出光佐 三記念六甲台 講堂 第2部：アカデミ ア館さくら	会員 52名	会費：9,000円	記念式典を六甲台講堂で挙。終了 後、レセプションを「さくら」で挙 行。記念式典の映像並びに式典で上映 した田口信教氏のインタビュービデ オ。「凌泳90年のあゆみ」をDVD に編集し参加者や希望会員に配布。記 念タオルを作成。会費
第8回	令和5 (2023)年 9月17日 (日)	創部100周年 (コロナ禍のため2年延 期)、凌泳会 HPのリニューアル 記念	第1部：出光佐 三記念六甲台 講堂 第2部：アカデミ ア館さくら	目標 80名	会費：10,000円 同伴：6,000円 記念Tシャツ： 5,000円	コロナ禍のため来賓は招かず、OB・現役 生のみ。第1部では、凌泳会ホームページ のリニューアル記念（過去の凌泳のデジタル 化・アップ、凌泳マスターズHPを統合）。参 加者には100周年記念ハンフレットと記念T シャツを配布。

商 神

忠田 兵造・作詞 (明治 38 年)
米田虎之助・作曲 (明治 39 年)

荘重に (♩=112) Allegretto

しょう しん あや なす つばさをあげて
れいじょう はるかにひがしをさせば
くしき このみはくもまを もりて
あきつしまねにおつとぞみえしところは
ここぞきくすいかおるみなとがわらのち
かきほとりにかくつたわりしあめのさとし
もひとはさとらでいくとせかへぬ

しょうしん あや つばさ
商神 彩なす翅をあげて

れいじょうはる
霊杖 遙かに東を指せば

く このみ くもま も
霊しき果実は雲間を漏りて

あきつしまね
秋津島根に落ととぞ見えし

ところ
所はここぞ菊水かおる

みなとがわら
湊河原の近きほとりに

つた あめ
かく伝わりし天のさとしも

いくとせ へ
人はさとらで幾年か経ぬ

【大意】

商神ヘルメスが、美しい翼をあげて、聖なる杖ケリュケイオンで遙か東の方角を指すと、天から聖なる果実が降ってきて日本に落ちた。場所はここ神戸である。このように伝わった天のご信託も、人々は気づくこともなく、そのまま何年か過ぎた。

○「商神」とは

近代日本の商業教育機関において、商神といえはギリシア神話に登場する商業の神ヘルメス（後のローマ神話ではマーキュリーまたはメリクリウス）を指す。商神ヘルメスは、翼のついた帽子とサンダルを身に着け、2匹のヘビが絡まる伝令の杖ケリュケイオンを持つ姿で表現される。近代化を目指す日本は、欧米の商業教育を学び吸収する過程で、ギリシア・ローマ神話の商神ヘルメス（マーキュリー）と出会う。

○学友会歌「商神」の誕生

「商神」の歌詞が初めて発表されたのは、1906年（明治39年）3月の「学友会報」第5号である。前年に神戸高等商業学校（神戸高商）学友会が懸賞募集し1等当選したものを「神戸高商学友会の歌」として発表した。作詞者は神戸高商2期生の忠田兵造である。当初は歌詞だけで題名も曲も付されていなかった。その後、兵庫県御影師範学校音楽教諭米田虎之助に作曲を依頼し、同年6月の学友会新入会員歓迎会の場で初披露となる。翌1907年4月の「学友会報」第8号に歌詞全文が「学友会歌 商神」として掲載されている。

○「商神」その後

神戸高商の学友会歌として誕生した「商神」は、その後、同校の校歌として広く認識され、大学昇格後も神戸商業大学、神戸経済大学の学歌として長く歌い継がれていった。

1992年（平成4年）に神戸大学の新しい学歌が完成するが、旧学歌「商神」は、神戸大学の愛唱歌として、今なお課外活動や学園祭他様々な場面で歌い継がれている。

※この文章は、野邑理栄子氏の「神戸大学愛唱歌『商神』の由来」より一部抜粋させていただきました。

祝 凌泳会 100周年



THE CLASSIC GOLF CLUB

- 1995 日本女子プロゴルフ選手権
- 2017 日本シニアオープンゴルフ選手権
- 2020 日本女子オープンゴルフ選手権
- 2028 日本女子オープンゴルフ選手権



西日本カントリークラブ



CMG スポーツマーケティング



佐賀クラシックゴルフ倶楽部



Golf Days

クラシックマネジメントグループ株式会社

代表取締役社長 谷水 利行 <https://cm-g.co.jp>

祝 神戸大学体育会水泳部 創部100周年

株式会社 アクアティック

神戸町町民温水プール
「グリーンオアシス」

相生市立温水プール
「コスモス」

備前市総合運動公園温水プール
「シーサイドプールヒゼン」

高槻市前島熱利用センター
「クリンピア前島」

たつの市新宮温水プール

稲美町健康づくり施設
「いなみアクアプラザ」

金 一波

奈良県まほろば健康パーク
「スイムピア奈良」

野洲市健康スポーツセンター
「サンネス」

幸田町民プール
「ハッピーネス・ヒル・幸田」

武豊町屋内温水プール
「CCNC プールたけとよ」

AQ fitnessclub

西知多医療厚生組合健康増進施設
2024年4月開業予定



司法書士 羽瀬智文

いちご司法書士事務所 代表

TEL06-6357-2831 FAX06-6357-2832
nqh35949@nifty.com

〒530-0041大阪府北区天神橋2-4-17
千代田第一ビル10階D号室
(JR大阪天満宮駅 7番出口すぐ)

迅速・丁寧・誠実に
対応させていただきます。
お気軽にご連絡
ください。



～相続・不動産売買～
株式会社コミュニティラボ
田中 和彦

〒600-8188
京都市下京区和泉町 529
TEL 075-744-1915 FAX 075-744-1965
携帯 090-9163-4476
mail tanaka@c-lab.co.jp

